



「花の首飾り」活用 年内めどに具体策

八雲 まちづくり協議会発足

「花の首飾り」の歌も披露された協議会の初会合 ▲

【八雲】人気グループサウンズ、ザ・タイガースの代表曲で町とゆかりのある「花の首飾り」を活用したまちづくりを考える「花の首飾りまちづくり協議会」が23日発足した。町民10人が、年内をめどに町おこしの具体策をまとめる。

1968年に発売された「花の首飾り」の作詞者菅原房子さんは当時町内に在住していた高校生だった。同曲を題材にした著書を昨年出版したザ・タイガースのメンバー瞳みのるさんが来町したのをきっかけに、同曲を生かした町おこしの構想が生まれた。

9月27日には瞳さんと同曲を作曲したすぎやまこういちさんらによるコンサートが予定されている。

初会合では、岩村克詔町長が「町の活性化のため協力してほしい」とあいさつ。自営業長江隆一さん(75)を会長に選んだ。出席者からは9月のコンサートについて「会場は音響がしっかりしている方がいい」「事前に曲を流して町民に浸透させるべきだ」などの意見が出ていた。

(稲塚寛子)